

特別上映会 6月9日(土) 14時セシオン杉並ホール

まるごと
台湾フェア
6/9

原作者 一青妙さん
舞台挨拶&トークショー

これは台湾と日本を故郷とする、一青妙、一青窈 姉妹の家族の物語

ママ、ごはんはまだ？

木南晴夏

呉朋奉 藤本泉 甲本雅裕
仁科貴 今拓哉 広澤草 一青妙 春風亭昇太 河合美智子

原作：一青妙「私の箱子」「ママ、ごはんまだ？」(講談社刊) 主題歌：一青窈「空音」

監督・脚本：白羽弥仁

製作：映画「ママ、ごはんまだ？」製作委員会 製作：嶋田泰、小谷晃一 プロデューサー：高瀬博行、原野晴美 企画協力：一青妙
撮影：向原光樹(S.C.) 照明：中泉信士(S&C) 録音：渡辺武彦 美術：尾崎原正 音楽：村松武 編集：浜谷隆一
衣裳：岡本桂子メイク：佐々木翠 台詞効果：野村健博 助演：深谷佳一 台湾ロケコーディネート：張敏怡
協力：辻調理師専門学校、チャイナエアライン 特別協力：石川県、金沢市、中能登町、台南市(台湾) 協賛：のと共栄信用金庫 後援：北陸新聞社、テレビ金沢、北陸放送
奈良文化庁文化芸術振興補助金
製作：映画「ママ、ごはんまだ？」製作委員会

www.mama-gohanmada.com

中能登町町制10周年記念事業



第64回
サン・セバスチャン
国際映画祭
キュリナリ部門
正式出品作品

13:30 開場 14:00 開演 17:00 終演(予定) 【全席自由席】
前売券 500円 (当日 700円) 高校生以下 300円 (500円)
杉並区役所 1F コミュかるショップにて販売中

主催・問合せ 杉並区交流協会 Tel. 03-5378-8833

共催 杉並区 後援 杉並区教育委員会 台北駐日経済文化代表処

包丁の音、湯気の匂い……。
時を超え、愛を届けてくれたのは、
母が遺した料理のレシピ。

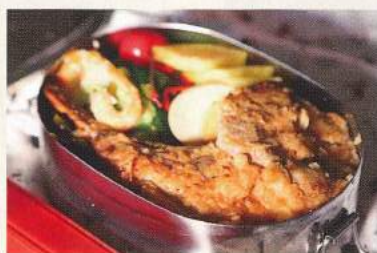


私たちには、いつでも母の料理があつた。



台湾人の父と日本人の母、可愛い妹と共に、家族四人で暮らした懐かしい家。その家を取り壊す時、見つかった赤い木箱。中にあったのは、亡き母の台湾料理のレシピ帳。妙の心に思い出があふれ出す…。

一青妙によるエッセイ「私の箱子」「ママ、ごはんまだ？」(講談社刊)を基に、心温まるヒューマンドラマが誕生した。本作が描き出すのは、料理を通して見えてくる、母から娘たちへの愛、そして家族の絆。そしてそれは、一青妙、一青窈姉妹の家族の物語。



主人公・妙を演じるのは、多くの映画やドラマで活躍する実力派、木南晴夏(『20世紀少年』『百年の時計』)。その妹・窈に、期待の若手女優、『アオハライド』『神戸在住』の藤本泉。母・かつ枝には、演技派、河合美智子。監督は『能登の花ヨメ』『神戸在住』の白羽弥仁。台湾や、一青家ゆかりの中能登町などのロケを敢行、街の喧騒や人情が生き生きと描写される。また、辻調グループ監修による、母・かつ枝の活気に満ちた料理シーンは見どころの一つ。食欲をそそられる、台湾家庭料理の数々もまた、映画の“出演者”だ。さらには、一青窈が映画のために書き下ろした主題歌「空音」が、原作者である姉・妙との絆を見せる。



辛い時にも幸せな時にも、心を込めて料理を作り、料理を囲む。それは、家族が、繋がること。そんな原点に立ち返らせてくれる映画『ママ、ごはんまだ?』が、心を優しく包み込む。

原作:一青妙「私の箱子」「ママ、ごはんまだ?」(講談社刊) 主題歌:一青窈「空音」

監督・脚本:白羽弥仁

出演:木南晴夏、呉朋奉、藤本泉、甲本雅裕、仁科貴、今拓哉、広澤草、一青妙、春風亭昇太、河合美智子

協力:辻調理師専門学校、チャイナ エアライン 特別協力:石川県、金沢市、中能登町、台南市(台湾)

協賛:のと共栄信用金庫 後援:北國新聞社、テレビ金沢、北陸放送

文化庁文化芸術振興費補助金

制作・配給:アイエス・フィールド 2016年/日本・台湾 合作/ビスタサイズ/5.1ch ©一青妙/講談社 ©2016「ママ、ごはんまだ?」製作委員会

中能登町町制10周年記念事業 www.mama-gohanmada.com 



6月9日(土) 『まるごと台湾フェア』

セシオン杉並展示室・中庭 台湾の物産販売・展示ほか 10:00~